

早いもので、弥生、3月を迎えました。校庭に注ぐ日差しに春のぬくもりを感じる季節がそこまで来ていますが、今冬は、ここ数年の中で一番寒かったように感じました。三寒四温の時候です。体調管理に気を付けていきましょう。

さて、オミクロン株の感染者がなかなか減少せず、また、新たな変異の出現等、気持ちが晴れ晴れとしない昨今ですが、4月には6年生が中学生になり、2～5生は全員が進級し、4月7日には新1年生が桜の正門を通ります。季節はいつもと同じく無常の如く巡ります。ぐっと我慢し、大局を展望しつつ、一日一日を大切にしながら、児童、教職員共々、3月を過ごしていく決意です。



フキトウ

『(雑感) 夏期、冬季オリンピックを終えて』



今年度は、オリンピックが、夏に東京で、冬に北京で開催されました。数年前、「おもてなし」という言葉が、候補地を決めるプレゼンで語られ、夏季オリンピックの場所に東京が選ばれた時、誰が、コロナの影響で開催が1年伸びたり、無観客での観戦になったりするなど予想していたでしょうか。どちらも感染拡大下のもと、厳重体制で行われたオリンピックでしたが、世界中の多くの人々に感動をもたらした両オリンピックであったと思います。国の枠を超え、スポーツを通じて、互いにメダル獲得の喜びを分かち合い、逆にミスをしてしまいメダルの逃した選手をいたわり合う選手たちの姿は、実に美しかったです。さて、今、ウクライナの情勢が大変気になります。これこそ、世界が平和への威信をかけ、警鐘を鳴らし、一つになるべき時だと思えてなりません。

『非常勤講師の配置について』

支援学級担任の、先生が、2学期の末に、産前・産後休暇に入られた後、引き続き勤務いただける代替の講師の先生が、3月1日に本校に配置されました。欠員補充の講師の先生がなかなか見つからない中、とてもうれしいことです。

名前は、先生 と、おっしゃられます。先生には、3月末までと、約1か月間の勤務となりますが、本校の年度末の教育活動を支えていただきます。よろしくおお願いいたします。



『季節の句 より』

梅一輪 梅一輪ほどの あたたかさ 服部 嵐雪

春を呼ぶ木々と言え、その咲く順に並べると、梅・桃・桜。今、新聞紙面には各地名勝からの梅便りが載っています。また、我が家では、今年も、ひな人形と共に、花瓶に桃の花を数本生けました。次は桜ですね。今年の開花宣言はいつ頃になるのかな…。

「寒の戻り」の日もあるでしょうが、春の暖かさが恋しいこれからです。

